



いしかわ労福協

第 518 号 2011年3月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

第34回 労福協研究集会 第7回 ライフ・サポートセンター代表者会議 を開く



研究集会の様相

石川労福協は、2月25日(金)フレンドパーク石川で福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合石川から総勢85名が参加して第34回石川労福協研究集会及び第7回ライフ・サポートセンター代表者会議を開催した。



上田弘志理事長

初めに上田弘志理事長が「去る23日に開催した理事会において2011年度の計画・予算の骨子を確認した。その中で、顔の見える活動を基本としつつ、3月末日に終了する緊急サポートネットワーク事業に代わる新子育て支援事業の取組み、新公益法人への移行などに取り組むこととしている。来年度においても地域LSCと共に運動を進めたく協力いた

だいたい。」と挨拶があった。

宮下亮専務理事が、2011年度石川労福協の課題、2011年度ライフ・サポートセンター活動計画・予算配分(案)について、それぞれ説明提案し満場一致で確認された。



嶋垣利春副理事長

続いて、「子育て支援における現状を知る」と題して山本実千代サポートハウス代表が「なぜ、子育ての支援が必要なのか?『我が子を抱くことすら、おぼつかない母親』が居るなど、悲惨とも言えるような子育ての現状もある。また、共稼ぎが多くなり、母親に過度な負担がかかるケースが多い。」など、現状と行政等が実施する子育て支援策を判りやすく講演し、子育ての窮状が伝わった。その後、富山県民踊おわら保存会による越中八尾「越中おわら」の三味線と胡弓による演奏に合わせた唄と踊りで、研修会による会場の硬い雰囲気が一瞬にして叙情ある雰囲気に変じ、参加者を和ませた後、嶋垣利春副理事長が「新年度における計画の実現に理解と協力を願う。」と閉会の挨拶をして集会を終了した。



熱く語る山本実千代サポートハウス代表

● 2011年度主なライフ・サポートセンターの活動計画

1. 新たな子育て支援施策として、「働くファミサポ利用会員への支援」「婚活支援」を検討
2. 無料職業紹介所「ジョブいしかわ」の相談体制の強化
3. 「福祉なんでも相談」の窓口相談活動体制の充実
4. 「愛のエコキャップ運動」「環境保護・里山里海保全」などのボランティア活動の参画
5. スポレク行事、退職前セミナー、新公益法人移行対応、LSC活動充実に向けた各種会議・研修会の開催
6. 活動の活性化を目指した地域組織基盤の充実と各事業団体を支える諸活動の取組み



越中おわら風の盆の踊りを舞う踊り手

4月より県内各自治体のファミリーサポートセンターへ移行 緊サポの利用・サポート会員への移行説明会を終了

緊サポ事務局は、本年3月末の事業終了を控え、緊サポ会員の「ファミサポへの移行にむけた説明



緊サポ移行説明会 白山会場

会」を2月26日(土)のかなざわセンターでの開催を皮切りに、県内5会場で行った。各説明会においては、利用会員、サポート会員に対し、「6年間の事業実績の報告と緊サポ事業終了後の労働者福祉協議会の『新たな少子化対策・子育て支援策』の検討状況」の説明をした。

また、説明会に同席した自治体担当者からは、ファミサポの概要と入会手続き等の説明があり、早速その場で入会する利用会員やサポート会員の姿が見られた。



緊サポ移行説明会 能登会場

3月13日(日)に能登空港内にある県生涯学習センターにおいて開催したすず・わじまセンターの移行説明会を最後に移行に向けた取組みを全て終了した。

いしかわ緊急サポートの会員数と活動状況

2011年2月現在

センター名	利用会員数 合計	サポート 会員数合計	サポート回数						
			05年	06年	07年	08年	09年	10年	合計
すず	14	6	1	1	3	26	14	181	226
わじま	12	2	0	1	3	9	5	0	18
ななお	4	8	0	1	2	0	0	0	3
はくい	6	5	0	0	0	0	14	6	20
かほく	70	19	2	14	47	105	15	23	206
かなざわ	536	164	7	349	444	698	1,065	1,114	3,677
はくさん	90	38	12	42	73	103	34	55	319
こまつ・のみ	42	21	19	89	37	43	77	17	282
かが	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	774	263	41	497	609	984	1,224	1,396	4,751

第12回いしかわ緊急サポートネットワーク会議

いしかわ緊急サポートネットワークの最後となる「第12回ネットワーク会議」が3月23日(水)、フ



会議の様様

レンドパーク石川で開催され、ネットワーク構成団体の石川県、石川労働局、金沢市、石川県経営者協会、県退職者連合、県看護協会、連合石川、石川労福協から14名が出席した。

県労福協の上田弘志理事長より御礼の挨拶のあと、直江圭祐アドバイザーが平成22年度の事業活動を報告した。

次いで、石川県少子化対策監室子育て支援課の村上美和子課長より「県の進めた『ファミリーサポート実施協議会』の取組みのなかで、県下全域にファミリーサポートセンターを立ち上げ

ることができ、本年3月末で事業を終了する緊急サポートのファミサポへの移行も可能となった」ことが報告された。

次に、才田副理事長より緊サポの6年間の歩みの報告と今後の子育て支援事業について説明が行なわれ、特にそのなかで「労福協の今後の子育て支援について検討した内容として、①ファミサポ会員への利用補助制度については本年5月の県労福協総会后、6月実施に向けて今後詳細を検討していく。また、②もうひとつの少子化対策としての「婚活」支援事業は本年秋ごろを目途に取り組んでいきたい」と説明した。

以上をもってネットワーク会議は終了した。

緊急サポートアドバイザー 直江 圭祐



村上県少子化対策監室子育て支援担当課長

2010年度第6回理事会を開催



理事会

石川労福協は、2月23日(水)に第6回理事会を開催した。

最初に上田弘志理事長が、「2005年から厚生労働省から受託し取組んできた緊急サポートネットワーク事業での子育て支援は、地域に浸透し多くの利用者より好評を得てきたが本年度末をもって終了する。子育て支援は、安定雇用にも繋がることであり、この事業に代わる新たな事業に取り組んで行きたく理解をいただきたい。」と挨拶した後、前回理事会以降の経過報告がなされ了承された。

次いで、新たな子育て支援策の方針、第49回通常総会の日程・事業計画(骨子)、予算の方向、定款変更、労福協研究集会などの提案がされ、全議案提案どおり確認された。なお、新子育て支援策については次回理事会において更に詰めた審議を行うことを確認し終了した。

勤 文 協

メーデー協賛行事

第43回県勤労者写真サロン・フローラルアート展

●作品募集

<写真の部>

作品受付：5月21日(土)、22日(日)

<フローラルアートの部>

出品申込締切：5月18日(水)

●作品展示：6月2日(木)～5日(日)アートシアター

石川ほか、県内6会場を巡回展示

主催：石川県勤労者文化協会

(電話(076) 231 - 1746)

詳しくは、主催者にお問い合わせください。

メーデー開催を協議

連合石川、石川労福協、福祉事業団体で構成する石川県統一メーデー第1回常任実行委員会が、3月9日(水)フレンドパーク石川において、関係者11名が参加して開催された。

はじめに狩山久弥連合石川事務局長が「今年も5月1日にメーデーを開催する。当日は日曜日にあたることから、昨年に引き続き家族参加型を基本として実施したい。」と実施に向けた挨拶があり、続いて、富瀬永連合石川副事務局長が前年度の実施結果や反省点の報告と第82回メーデー開催計画を提案した。

会議では、「多くの参加が得られるよう実施すべきだ。広くメーデーを浸透する上でも各開催地の地域LSCが係わりをもち開催すべきだ。」など多くの意見交換が行われた。最後に、今日の討議内容や見込み予算を踏まえ次回委員会において素案を提起したいと締めくくり終了した。



昨年のメーデー金沢中央大会

メーデー協賛行事(3月15日現在)

- 第20回ボウリング大会
日：4月29日(祝・金)
於：金沢ジャンボボール
 - 第45回ロードレース
日：5月1日(日)
於：県中央公園前スタート
 - 第11回グラウンドゴルフ大会
日：5月12日(木)
於：金沢市 大和町広場
 - 第10回綱引競技大会
日：5月22日(日)
於：金沢市城西体育館
 - 第43回勤労者写真サロン・フローラルアート展(左に別記)
- その他、囲碁・将棋大会、チャリティゴルフ大会、移動相談会の開催を予定

中部労福協第2回代表者会議

2月17日(木)富山市の「ボルファートとやま」において、第2回中部労働者福祉協議会代表者会議が中部(東海、北陸、近畿)12府県の労福協代表者ら33名が参加して開催された。

会議は、馬場修一中部労福協会長が「とある



代表者会議で挨拶する馬場会長

アンケートで、『将来に希望を持っていない子どもが50%以上いる』との結果が表すように、労働者、市民を取り巻く環境は、依然厳しい環境下にあるが、安心社会の創造と実現に向けて労福協運動を継続しなければならない。」と挨拶して始まり、大塚敏夫中央労福協事務局長代行、森本富志雄連合富山会長らの来賓挨拶の後、議案審議に移り、全議案提案どおり承認された。

続いての講演会は、元KNBアナウンサーの相本芳彦氏が「福祉の基本はコミュニケーションから」と題して“まごころ”を持ち真剣に向き合うことが基本であると講演し代表者会議を終了した。



元KNBアナウンサー相本芳彦氏

金沢地域ライフ・サポートセンター

退職者の確定申告のサポート

金沢地域LSCは、確定申告の時期に合わせ、連合かなざわと連携し、昨年に引き続き、年金(雑所得)や医療費などの申告のお手伝いを行った。

事前の電話相談や、実際の申告書作成のお手伝いは26件にのぼった。

このお手伝いによって、還付申告となった金額は合計約478千円にのぼり、払い過ぎていた税金を取り戻すサポートができた。



来年も取り組みます。ご利用ください。

金沢地域LSC 副事務局長 吉田寿子

これからの行事予定

(3月20日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
3月24日	木	石川県社会福祉審議会	県庁
25日	金	労金県庁出張所常任推進会議	
4月6日	水	メーデー常任実行委員会	フレンドパーク石川
7日	木	中部労福協幹事会(～8日)	愛知県
12日	火	消団連幹事会	フレンドパーク石川
15日	金	福祉基金管理委員会	〃
28日	木	労福協第7回理事会	〃
29日	祝・金	メーデー協賛「第20回ボウリング大会」	金沢ジャンボボール
5月1日	日	第82回石川県統一メーデー	県中央公園
〃	〃	メーデー協賛「第20回ロードレース」	県中央公園前スタート
10日	火	第4回勤労者互助会総会	都ホテル
12日	木	メーデー協賛「第11回グラウンドゴルフ大会」	金沢 大和町公園
22日	日	メーデー協賛「第10回勤労者綱引競技大会」	金沢市城西体育館
27日	金	第49回労福協通常総会	フレンドパーク石川

加賀地域ライフ・サポートセンター

全労済 50 周年事業「いちご狩り」

加賀地域ライフ・サポートセンターは、3月12日(土)加賀市豊町の「加賀フルーツランド」において、全労済50周年記念事業の「いちご狩り」を開催した。

当日は、少し肌寒いものの晴天に恵まれ、子どもを含め201名が参加するなかで行われた。

最初に黒谷治夫加賀LSC会長と水野志郎全労済石川県本部専務執行役員が開催にあたっての挨拶を行った。

開会式に先立って行った受付時の抽選会では、特賞の32型液晶テレビをはじめ豪華景品に、参加者が一喜一憂した。

加賀フルーツランドはハウス栽培とはいえ、今冬は寒い日が続いたことや、約200名の参加の備えということもあり、“いちご”の生育が心配されたものの、当日は赤々とした大きないちごが沢山実り安堵した。

品種は“紅くてほっぺが落ちそうなくらい美味しい”ということで命名された「紅ほっぺ」で、参加者は4つのハウスに分かれて大粒で新鮮ないちごを摘みに入り、中には手の平いっぱい大きないちごを両手に持って頬張る子どもがいるなど、いちご狩りを思う存分堪能していた。

全労済石川50周年の感謝と同時にLSCの余暇サポート活動もアピールでき、また家族ぐる

みで楽しめる行事となった。

加賀地域LSC 事務局長 河野真弘

錦城学園生招待ボウリング



ボウリングを楽しむ生徒ら

加賀地域ライフ・サポートセンターは、3月15日(火)百万石リゾートレーンにおいて、錦城学園の生徒47名を招き「錦城学園生招待ボウリング」を行った。

学園生らは、このイベントが毎年開催されることを楽しみに待っており、参加した学園生らは、ピンがたくさん倒れると、ガッツポーズをとったり、大変楽しい雰囲気の中ボウリングをプレーした。

錦城学園からは「参加者らは、体を動かす良い機会になり、嬉しい企画で感謝しています。」との言葉をいただき、無事行事を終了した。LSCとしても是非続けていきたい企画だと思っている。

加賀地域LSC 角谷悠

勤 体 協

第45回県勤労者冬季ソフトバレーボール大会(3月6日(日)・いしかわ総合スポーツセンター)

フリー▽A ①CLUB LIVERO・A②8840③TrustA▽B ①CLUB LIVERO・B②MORIMOTO・A③フランクビーンズ▽C ①フレンドリック▽D ①UMAKラブ②小坂VC・A▽D ①UMAKラブA②ドラゴンマジック③アンビニャスA

55歳以上▽A ①カサブランカA②森山SVC・E③津幡南SVC▽B ①FIRE CROS②ゆめまるC③カサブランカB

45歳以上▽A ①伏見台ソフトバレー部②さいがわ③米丸トゥインクル▽B ①CONFORT②新神田SVC・A③UMAKラブC▽C ①羽咋SVC無限②TEAM DUSKIN・A③森山SVC・D

35歳以上▽A ①ゆめまゐるA②森山SVC・B③余喜SVC・A▽B ①EASYSZC②かほくJEANIZU③SVC崎浦B▽C ①EBBA②SVCクアトロ③符津エンジェルズ

第45回県勤労者冬季バドミントン大会(3月13日(日)・白山市若宮体育館)

男子 ①昇陽会②WB C ③飛翔会③モルホン

女子 ①勤体協サークル②瓢友クラブ③ひよこ倶楽部
混合 ①勤体協サークル②チーム加賀③鶴来クラブ③たんぼぼB

第45回県勤労者冬季卓球3人3ダブルス大会(3月13日(日)・金沢市総合体育館)

硬式▽一般男子 ①档の会A②ぬかクラブ③档の会B
▽一般女子 ①NOTOヤンキースA②ドゥ(ネクサス)③NOTOヤンキースB

ラージ▽男子▽シルバード①ななおクラブ②能美クラブA③金沢兼六クラブ▽ゴルド1組 ①白山クラブB②内灘クラブA③能美クラブA▽同2組 ①金沢兼六クラブA②白山クラブA③のとぎりしま

女子▽シルバード①能美クラブ②内灘クラブ③ななおクラブ▽ゴルド1組 ①能美クラブA②同クラブB③羽咋卓友会▽同2組 ①七尾スタースA②同B③南加賀クラブ

第45回県勤労者冬季バスケットボール大会(3月20日(日)・いしかわ総合スポーツセンター1ほか)

男子6組 ①Chopp erZ②伸晃化学③KBC

女子2組 ①CHOCO LATIS②Daike③WAVEMOTION

金沢地域ライフ・サポートセンター

被災地にタオルを贈る

金沢地域 LSC（会長綿征一）と連合かなざわは、3月17日（木）、各々の組織関係者がボランティアに生かそうと収集していた包装されたままの新品タオル 1,340 本を東北関東大震災の被災者救援物資として、金沢市を通じて被災地に贈った。

当日は、谷内英明金沢 LSC 事務局長、吉田

寿子同 LSC 副事務局長、宅本門示連合かなざわ事務局長が救援物資の受入れ窓口である金沢市西部クリーンセンター管理棟に持ち込んだ。

窓口には、善意の物資が次々と持ち込まれ、係りの職員は慌ただしく保管場所に収納していた。

被災者が一日も早く日常生活を取り戻されることをお祈りします。



金沢地域 LSC 事務局長 谷内英明

お見舞い

3月11日（金）発生した東北関東大震災は、未曾有の被害を及ぼしました。

依然、多くの方が行方不明となっておられるほか、多くの犠牲者を生じております。また、被災された方々は、未だ不自由な生活を強いられる厳しい状況にあります。

ここに、被災された方にお見舞い申し上げますとともに、行方不明者のご存命と犠牲者のご冥福をお祈り申し上げます。

東北関東大震災に対するカンパ金箱を労福協に設置しました。

カンパにご協力ください。

集められたカンパ金につきましては、関係機関を通じて被災者、被災地の復興のために役立てていただきます。



蘇州市総工会からお見舞が届く

当協議会と友好関係にある中国蘇州市総工会より、この度の東日本大震災に対しお見舞いを頂戴しました。幸い、当協議会や石川県内には地震被害が無かったことや、被災地の概況をお知らせし、お礼を申し上げます。感謝！感謝！です。

苏州市总工会

慰问电

石川县労働者福祉協議会:

发生在3月11日的强烈地震和海啸，给日本造成了巨大的损失和人员伤亡。我们对此十分关切，并对在地震中的遇难者表示深切的哀悼。

地震发生至今已有5天了，我们从媒体报道中获悉日本政府和人民正在积极进行救灾援助活动，对此我们深表钦佩。我们衷心祝愿受灾地区的人们能够克服暂时的困难，尽快重建家园。

如果有需要我们协助的地方，请告知，我们将倍感荣幸。

苏州市总工会
主席 金明

2011年3月16日

お見舞い

石川県労働者福祉協議会 御中

3月11日に発生した大地震と津波は、日本に甚大な損失と国民に犠牲をもたらしました。私たちはこの事態を憂慮し、地震で被災された皆様に深く哀悼の意を表します。

地震が発生してからすでに5日間経ちましたが、私たちはメディアの報道を通じて日本政府および国民が、積極的に救済援助活動を行っていることを知り、深く敬服しております。被災地域の皆様、この困難を克服し、一日も早く郷土を再建されることを心よりお祈りいたします。

私たちに協力できることがあればお申し出ください。お知らせいただければ光栄に思います。

蘇州市総工会
主席 金明
2011年3月16日